

事業所における自己評価結果（公表）

別紙 3

公表：令和 6年 3月 1日

事業所名 玉野市児童発達支援センター

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	10	2	・部屋で密集しないように、個別やグループ活動を取り入れて工夫している。	・個室スペースが足りない。→そのときの状況や子どもの実態に合わせて活用していく。 ・午睡の部屋が人数と比例していない。スペースが取れるよう工夫している。 ・部屋数と導線が実態とあっていないため、各部屋を活用しながら過ごしている。
	②	職員の配置数は適切であるか	11	1	・クラス担任が決まっているが、イレギュラーな場合や出勤に偏りがあるときには、パート職員にヘルプに入ってもらって、安全に配慮している。 ・配置基準は満たしているが、出勤状態とは比例していないため、クラス担任の垣根を越えて配置するようときもある。	・日によって多い日や少ない日があり、バランスが悪いことがある。 ・配置数と適材適所は別問題。 ・数的に足りていますが、もう一人いれば余裕を持って子どもたちを見られると思います。 ・人員に余裕があるときにはツールや課題の作成、掃除を行うようにしている。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	12	0	・幼児向けの作りでないため、その都度使い方を考えている。 ・活動毎に部屋を用意できないため、クラスや活動で譲り合って使用している。 ・市民センター内を間借りしているため、バリアフリーになっている。	・トイレまでの導線が遠い、ホールの使い方が多目的等生活しにくい作りになっている。 ・幼児向けの作りではないため、支援のしにくさや無駄な動きが多い。専用の施設が必要と思う。 ・設備面では、各部屋にインターフォンを置いて大人が聞こえる程度の声の大きさを伝達するようにしている。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	9	3	・安全が保障できないもの、危険があるものは処分します。 ・必要な物は買い替えの検討もします。 ・秋から春にかけて、子どもが喜んで利用できるように、壁画をアーティストに依頼したり、クラスのドアをアクリルに交換したり、カムダウンエリアを家型の家具にするなどして変更している。	・長年使用しているものが多い。 ・床がきたない。→自分が意識して掃除しましょう。 ・劣化しているものもあり、使いにくさもある。汚れが強い物や見栄えが悪い物は買い替えもやっている。 ・トイレ、クラスの物や玩具は毎日消毒、窓や水道、下駄箱等は週末の消毒と、感染対策には気をつけている。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	12	0	・コンサルで助言を受け、実施、進捗確認と再構造化を実施する習慣を意識して療育に繋げている。	・その日にあった出来事をすぐに報告し、改善できるようにしている。 ・パート職員の勤務時間内での参加は難しい。 ・クラスで毎日の振り返りやカンファレンスで様々なことを共有し、終礼を行うことで全体の情報を共有している。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	12	0	・行事や研修の実施後にもアンケートを実施し、次年度に活かすようにしている。	・毎年ガイドラインアンケートを実施している。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	11	0	・ホームページが新しくなり、定期的に更新されている。広報が不足しているので、通信や口頭で知らせていくようにしている。	・ホームページで公開している。 ・分からないです。→毎年公表されています。ホームページを見てください。知らない職員がいることが課題なので、知らない場合は周囲に尋ねるように指導をしていく。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	11	0	・コンサルテーションを取り入れ、進捗を報告することで業務改善としている。	・分からないです。→川大 小田桐准教授によるコンサルテーションを受け、アセスメント力をつけて定期的に改善している。 ・コンサルで療育の仕方や現場を見てもらって意見を頂いている。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	12	0	・法人内、部門内、拠点内、事業所内、外部研修、自己研鑽と、研修機会は豊富に準備している。	・自分が参加したい、学びたいと思った研修には積極的に参加している。 ・昨年に比べたら、増えた。 ・人員不足のときには、研修に出られないときもある。 ・外部研修にも参加している。 ・コンサルや法人内研修、部門内研修、拠点内研修等

適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	12	0	・アセスメント力の弱さがあるため、コンサルから実践の中で取り組み、インフォーマルな評価とフォーマルな評価、どちらも有益に使える力をつけ、プランを作成している。	・太田ステージでアセスメントしている。 ・目標要望書にて、保護者のニーズを把握している。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	12	0	・コミュニケーションサンプルやPEP等が使えるように学んでいる。	・太田ステージでアセスメントしている。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	8	4	・年長児は地域の交流もプランに入れている。 ・プランに家庭支援や地域支援を必要に応じて盛り込んで実施している。	・家族、地域支援が必要だが、できていないところもあるように感じる。 ・支援ができるように、ケースを知る機会や必要な知識を学べる研修などにさんかしていきたい。 ・プランに設定していても、日程調整が合わずに定期的な支援ができなかった。
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	12	0	・クラスでプラン書を確認できるようファイリングする。	・更新時期に慌てている感じもある。 ・プランに沿って支援している。
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	12	0	・月ごとに日程を決め、関係者でカンファレンスを行っている。	・児発管、クラス担任、相談支援専門員と話し合っている。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	12	0	・同じことを繰り返すことも大切だが、バリエーションを変えて取り組むようにしている。	・戸外で活動も取り入れている。 ・日案を立てて、クラス内で一日の活動の担当を振り分けている。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成しているか	12	0	・低年齢児や入園したばかりの児には、個別対応をしっかりと入れ、実態に合わせて集団活動を取り入れている。	・週案を立てて実施している。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	12	0	・勤務表やカレンダーで共有している。（張り出す場所は模索中）	・週案を立てて、クラスで打ち合わせて実施している。 ・全体朝礼後、クラスミーティングを行っている。 ・週案をクラスで立てているので、クラス内は周知しているが、クラス間での共有ができたりできなかったりしている。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	12	0	・クラスでの振り返り、全体での終礼で段階を踏んでいる。	・日誌や振り返りも書いてあるため、確認しやすく共有できるようになった。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	12	0	・すべての支援に対して記録を残すようにしている。	・体調や様子観察、怪我や発言等についても記録している。 ・SimpleCaseに活動内容を記録し、talknoteに欠席やヒヤリハット・インシデントの記録をして、全体に共有して改善に勤めている。
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	12	0	・モニタリングのタイミング以外で変更の必要があった際には、見直しを行うようにしている。	・相談支援専門員と担当者会議を開き、見直しや作成を行っている。
	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	12	0	・児発管と担任が参加し、移行支援の際には管理者やOTが参加する場合もある。	・児発管と担任が参加している。
㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	12	0	・定期的に利用児の状況報告をするようにしている。	・保健師との連絡は取っている。 ・虐待ケースや見守りケース等で連携している。	

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	-	-	・対象児なし	・対象児なし
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	-	-	・	・対象児なし
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	11	1	・就学移行、療育先の移行、園からの移行時には必ず担当者会議や訪問にて情報共有の場を設けている。	・移行がない →あります。移行支援とは何かを職員間で共有できていないので、理解してもらうことが課題。 ・移行手順や引継ぎ内容など分かりやすく共有する必要がある。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	12	0	・事前の見学時から職員が同行し、安心して移行できるようにしている。 ・学校から2～3回、こちらから2回程度就学移行で相互共有機会を図っている。	・3月に引継ぎ連絡会をしたり、支援学校との行き来をさせてもらったりと、機会は増えている。 ・小学校から見学に来られたり、移行後の様子を学校へ向いて見学をしている。 ・就学前後の移行支援として引継ぎを行っている。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	8	4	・研修の内容に応じて、職員に都度提案している。	・もっと見学や研修に行けてもいいと思う。 ・OTやSTのりハ職員に観察、助言してもらった内容に取り組んでいる。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	9	3	・活動内容に応じて参加している。遊具や内容と子どもの実態を合わせて考え、参加を考慮している。	・全員でなく、特定の児のみ参加。 ・今年度から初めて園庭開放に参加させてもらっているが、回数も人も限られたものだったので、もう少し交流機会が持てるようになると思う。
	29	(自立支援) 協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	12	0	・協議会、部会に毎回参加している。事例検討や市内の事業所と除法交換を行っている。	・子ども部会に、管理者、児発管、職員が参加している。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解を持っているか	12	0	・日常は担任職員が対応し、相談内容や保護者会等で責任者が伝え合うように役割を決めて対応している。	・連絡帳や対面で話している。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	12	0	・家族支援として、プラン書に盛り込み、家庭連携で家庭訪問を行っている。 ・責任者とOTがベアトレのための研修を行っている。	・児発管、OTが中心となって行っている。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	12	0	・改定等で加算項目の変更が生じた際に、説明をして同意を得ている。	・契約時や変更があった際に行っている。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	12	0	・モニタリング、懇談を得てプラン書の同意を得ている。懇談中に優先度の高い課題が出た場合はその場で変更することもある。	・懇談や入園説明会で同意を得ている。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	11	1	・毎日送迎時間を活用して話すことができる。バス利用の方は、送迎をされるときにできるだけ時間を取るようになり、こちらから定期的に電話連絡を入れるようにしている。	・送迎に来ている保護者はできるが、バス利用の方は機会がない。→送迎の方に向けて、どういった支援ができるか考えていきたいと思います。 ・職員から声を掛け、対応している。

保護者への説明責任等	95	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	12	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仕事をされている保護者も多いため、負担の無い程度の会を開催するようにしている。</li> <li>・土曜日に企画する等、参加しやすい日程も提案したい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・少し減っているように思う。</li> <li>・保護者勉強会等を通して機会は設けているが、参加する人が限られているため、より多くの保護者が参加できるもの考える必要がありそう。</li> <li>・サポートブック勉強会や就学に向けての勉強会を行っている。</li> </ul>
	96	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	12	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・管理者や児発管を始め、職員も早期に対応し、全職員に共有している。</li> <li>・怪我で手当や受診が必要な場合、保護者への報告や同行等も役割を決めて即座に行うようにしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・管理者や児発管が早期に対応し、全職員に共有している。</li> </ul>
	97	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	12	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月通信を発行し、行事や天候のことなど随時対応できるようにしている。</li> <li>・放デイ職員とも共有し、互いの保護者から連絡が入った場合にも分かるようにしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月通信を配信し、ホームページでも知らせている。</li> </ul>
	98	個人情報の取扱いに十分注意しているか	12	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施錠できる書庫や金庫で個人情報類は管理し、使用するときのみ開錠している。事業所からの持ち出しはしない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施錠できる書庫や金庫で管理している。</li> </ul>
	99	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	11	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別に配慮した日程調整や配車、配布物の説明を行うようにしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分ができていない。</li> </ul>
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	12	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者からも好評であったため、定期開催にしていけるように考慮する。</li> <li>・準備を全職員で行っていくようにすると、負担なく取り組める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マルシェなど、もっとあってもいいと思う。</li> </ul>
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	10	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月通報訓練を行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・もっと緊張感ある訓練や職員だけで避難場所まで実際に歩いてみるなどもあっていいと思う。</li> <li>・保護者が知っているか分からない。→どうすれば実施状況を知っていただけるか考えて提案しましょう。</li> </ul>
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	12	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実践を踏まえた避難訓練を行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月計画に則り実施している。</li> </ul>
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	12	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入園前から書面で共有している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入園説明会で聞き取りと書面にて提出してもらっている。再度、担任とも聞き取りを行うようにしている。</li> </ul>
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	12	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・栄養士と毎月給食会議を行い、進捗を共有している。前月末に翌月の献立を保護者に確認してもらい、栄養士と責任者のダブルチェックを行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療機関で検査してもらい、医師の診断書、意見書を基に児発管と栄養士が聞き取りを行っている。その後、栄養士や調理員にも共有し、除去食を提供してもらっている。</li> <li>・年度途中で症状が出た場合、保護者に受診と検査を勧め、安全な食事提供ができるようにしている。</li> </ul>
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	12	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝礼や終礼で共有し、業務日誌に記録するようにしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・システムに打ち込み、朝礼・終礼で共有し業務日誌に記録している。</li> <li>・携帯やパソコンでしか見れないため、パートは知ることができない。</li> </ul>
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	12	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・虐待防止委員が定期的に朝礼や終礼で注意喚起を行い、振り返る機会を設けている。</li> <li>・委員が中心で研修を行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎年研修を実施し、月一回虐待防止委員会を開催。虐待防止委員が中心になり、注意喚起を行っている。</li> </ul>
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	12	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・やむを得ない場合についての認識を伝えながら、基準を伝えていく。同意書を取っているが、計画の中にも一文加えて説明するようにしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・契約時に説明し、同意を得ている。実態があった場合には記録している。</li> <li>・怪我の手当等で瞬間的に拘束するときにも記録している。</li> </ul>